



ごうちゃんねる (GO-CHANNEL)

2022/12/24

あっさり黙示録 #46

艱難時代の下克上

—その背後にある創造主の摂理—

黙示録 17 章

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。今日は[あっさり黙示録](#)の46 回目。

[黙示録 17 章](#)の続きを解説します。その前に、ひと言申し上げたいことがあるんですね。

前回の動画で「やがて統一宗教が出来上がる。その母体となる団体は携挙されなかった教会である」と解説しました。つまり形骸化した教会…名ばかりのクリスチャン・神を信じていない牧師たち…が携挙の後残るんですね。組織としては地上にネットワークを持っているんです。

この形骸化した教会が母体となって、世界中の様々な宗教を統一していく。

聖書は、この世界統一宗教を[大淫婦](#)と語っています。

この動画に、とっても気になるコメントが入っていたのです。

「教会にも色んなのがあることがよく分かりました。それで、気軽に行くのはちょっと警戒しなければならぬ、と考えるようになりました。こうして家で YouTube で見るのが一番安全で、情報も取れるし、いいなあと思いました。」

このコメントを拝見して、ちょっと気になったんですよ。おかしい教会には絶対行ってはダメです。しかし、今ある教会全部がおかしい教会ではない。健康な教会・幸いな教会・聖書に則っている教会もたくさんあります。ぜひ、健全な教会には足を運んでいただきたいと思うんですね。

では、まだクリスチャンでない方は、健全な教会なのかカルト的なのか、どこで見分けたらいいんだろう。最低限のことで3つの質問を紹介します。

この質問を、行こうと考えている教会の責任者に電話かメールで尋ねてみてください。

1) 原典としての聖書は誤りない "神のことば" である、と信じていますか。

聖書を "神のことば" として額面通り信じていますか。

原典としての旧約聖書・新約聖書は 100%神の靈感によって書かれた、と信じていますか。

そもそも、これを信じていない教会が案外あるんですね。残念なことに、歴史と伝統のある教会の中に多いと思います。なので、これをズバリ聞いてください。

「いや、聖書の中には靈感されたのではなく、後から人間が考え出した。付け足した」とか言う人・牧師がいたら、そこはやめといてください。ダメな教会です。

2) 三位一体 (さんみいったい) の神を信じていますか。

聖書は一貫して「神は唯一である」と教えています。

同時に、神には3つの人格 "父なる神・子なる神・聖霊なる神" がある。

神のことを説明するのに“人格”という言葉を使うのは本当はふさわしくないのですが、分かりやすくするためにわざと使いますね。

“父なる神・子なる神・聖霊なる神”の3つの人格。だからといって、神が3人いるのではない。神は唯一です。しかし3つの人格がある。これを三位一体と言います。聖書全体を読んで行くなら、そうとしか受け止めることができないんですね。これは聖書の重要な真理の柱の一つです。ですから「この教会は三位一体を信じていますか」と、ぜひ尋ねてください。

3) 救いの条件はイエス・キリストに対する“信仰のみ”ですか。

教会の看板を掲げているなら「イエス・キリストを救い主として信じている」と言うと思いますよ。しかし、イエス・キリストに対する信仰+献金とか、イエス・キリストに対する信仰+奉仕とか、何かが付け加わっているなら、既に信仰義認から逸脱しているので、それもダメなんですね。

他にも色々ありますが、この3つを最低限クリアしていることが条件です。それなら、ひとまず安心と言えるでしょう。しかし、この3つのうち1つでも「そうではありませんよ」と言う教会はやめてください。それは羊の皮を被った狼です。

そもそも、カルト宗教や異端のキリスト関係の団体は、表面的には紳士淑女が多いんですねえ。非常に丁寧で・謙遜で・紳士的に見えるんですが、一旦中に入ったら生き地獄が待っています。その人たちからどんな印象を受けたかということ以上に、彼らがどういうことを信じているのか、この3つの質問であぶり出すことができると思うので、確認の上、ぜひ教会に行くことをお勧めします。

さて、今日は**黙示録 17 章**の続きです。

世界統一宗教を表す**大淫婦**について。大淫婦は3つのものの上に座っています。

①大水の上

1 また、七つの鉢を持つ七人の御使いの一人が来て、私に語りかけた。「ここに来なさい。大水の上に座している大淫婦に対するさばきを見せましょう。」

15 また、御使いは私に言った。「あなたが見た水、淫婦が座しているところは、もろもろの民族、群衆、国民（くにたみ）、言語です。」

大水は全世界の人々。その上に君臨しているのが**大淫婦/世界統一宗教**です。

②獣の上

3 それから、御使いは私を御霊によって荒野へ連れて行った。私は、一人の女が緋色の獣に乗っているのを見た。その獣は神を冒瀆する名で満ちていて、七つの頭と十本の角を持っていた。

獣に乗っている。その獣の本質は神を冒瀆する者で、七つの頭と十本の角を持っていた。この獣の正体については**黙示録 13 章**で既に解説しています。復習しましょう。

獣には個人と組織の2つの意味があります。個人を指す時は“反キリスト”という特定の人物。

組織を指す時は反キリストが君臨する“反キリスト帝国”。

七つの頭と十本の角。最初 10 の連合体だったのが、後半 3 年半で 3 つの国が抜け落ちて、7 개국連合になってしまうんですね。だから七つの頭と十本の角。

反キリストが束ねる 10 の国家連合体の上に大淫婦が座っている。

③7つの山の上

9ここに、知恵のある考え方が必要です。七つの頭とは、この女が座している七つの山で、それは七人の王たちのことです。

七つの山は何を意味するのでしょうか。これを理解するためには、ローマ史全体を眺め渡すことが必要なんですね。今回の動画ではとても収まり切れない内容なので、ここの部分については次回に回します。

今回は②獣の上に座っている大淫婦。世界を治める政治連合体の上に座っている世界統一宗教。政治連合体に支えられていると言ってもいいのですが。

主導権を握っているのは上に乗っているほうなので、まさに天下無双状態の世界統一宗教。

これがどうやって滅びるのか。だれ一人立ちはだかることがない世界統一宗教は、あっけなく滅びます。だれが滅ぼすのか。反キリスト率いる 10 の国家連合体。これが世界統一宗教に襲いかかります。

16 あなたが見た十本の角と獣は、やがて淫婦（世界統一宗教）を憎み、はぎ取って裸にし、その肉を食らって火で焼き尽くすことになります。

やがて淫婦（世界統一宗教）を憎む。はじめは共存共栄。しかし、やがて（前半 3 年半）。

前半 3 年半までは共存共栄、持ちつ持たれつの関係です。しかし、3 年半が過ぎると大淫婦を憎み、そして滅ぼしにかかる。

4 段階を経て滅ぼします。①はぎ取って ②裸にし ③その肉を食らって ④火で焼き尽くす。

①はぎ取る。世界統一宗教が持っている権威を剥ぎ取る。

②裸にする。大淫婦の宗教組織内部がいかに淫らで・不誠実で・悪が横行し・メチャクチャな状態であるかを一般に情報公開して、実に信用ならんものであることを明らかにする。

今、統一教会がそれをされてるじゃないですか。それをもっと徹底的にやる。

情報公開によって秘密のスキャンダルを全部白日の下に晒し、権威を失くしてしまうのでしょうか。

③その肉を食らう。肉を食べたら、その肉のエネルギー源が食べた人の体の中に宿りますよね。

つまり、大淫婦が持っていた非常に贅沢・潤沢な富を全部横取りする。

④火で焼き尽くす。火で焼いたら灰しか残りません。世界統一宗教は跡形もなく無くなり、消え去る。そして、世界統一宗教が持っていた宗教的権威は反キリストが握ることになる。

ある意味で、反キリストが世界統一宗教になるのです。

そのようにして、世界統一宗教は反キリストと 10 개국連合の力で滅びてしまいます。

この事態について、17 節に非常に大事なことが出て来ます。なぜこの事が起こったのか。

17 それは、神のことばが成る時まで、神はみこころが実現するように王たちの心を動かし、彼らが一つ思いとなって、自分たちの支配権を獣（反キリスト）に委ねるようにされたからです。

10 人の王たちは怒り狂いながら世界統一宗教に牙を剥きますが、それは自分たちの目の上のたんこぶだったからです。自分たちの上にいつまでも君臨して偉そうにしているのが我慢ならなくなると、「コイツ、いつまでイ気になっとるんだ！」ということでぶっ倒すんですね。ぶっ倒す。悪が悪を滅ぼすということの背後に神の主権があるのです。

世界統一宗教は艱難時代 前半 3 年半に、おびたしい数のクリスチャンを死に追いやりました。神は世界統一宗教を憎んでいます。この憎むべき世界統一宗教を滅ぼすにあたって、10 の国家連合体の憎しみをも利用し、悪をもって悪を滅ぼしたのです。

10 の国家連合体は神の意を受けて、御心に協力したいと思ってそうするんじゃないありません。自分たちがしたいからしているだけ。しかし、彼らの暴虐なその思いをも良いことのために利用し、ご自身の計画を実現しているのが創造主である神。これが神の主権です。

今年も非常に残念な事件が多かったですね。2 月にはロシアがウクライナ戦争をおっはじめ、安倍元総理が暗殺され、また統一教会の問題も。本当にうんざりするような問題がたくさん。そういうのを見ていると、正しく生きようとしている人たちに無力感が忍び込んで来るんです。「正しく生きたって、悪が横行するから無駄じゃないか。虚しいじゃないか」と勘違いしやすいのですが、いやいやいや。

暴虐が横行している背後に良い計画もまた進んでいる。この暴虐も神の許しなしには起こらない。暴虐の中を通過して、その背後に神の良いプランが着々と実現化している。このことを見落とさないようにしたいと思うのです。

神の主権がどこにもないように見える時、表面的にはそうであっても、信仰の目が開かれると、神は着実に神の国の実現に向けてプランを前進させておられるんですね。聖書の神に信頼しながら、胸を張って生きる者でありたいと思いました。

また続きをお話ししますので、よければお付き合い下さい。
チャンネル登録もお願いします。ではまた ごうちゃんねるでお目にかかりましょう。
皆さん、お元気でいてください。さよなら！

☆引用：新日本聖書刊行会「聖書 新改訳 2017」 いのちのことば社,2017